

有害鳥獣被害対策について

昨年2月から協力隊として活動をしています、小池優作と申します。

有害鳥獣被害対策をメインに活動しており、普段は協力隊OBの石川雄揮氏が立ち上げたハント・プラス合同会社にて有害鳥獣被害に関して学び、実践しています。

昨年に狩猟免許を取得し現在、いすみ市猟友会に入会、今後は有害鳥獣駆除隊の入隊を目指し、より一層地域の有害鳥獣被害対策に力を注ぎたいと考えています。

『中学生とその保護者に向けて自然体験ツアー』を開催します！

この度、ハント・プラスとの共同企画で「狩猟体験を通じたいすみ市自然学習」という狩猟体験ツアーを中学生とその保護者対象に無料で開催することになりました。

ツアー内容

- ・座学：一ヒトと房総の野生生物と獣害問題一
- ・裏山から行ける宇宙：ミクロな生き物の世界を顕微鏡観察
- ・ハンタートレイル：ハンター目線で山を歩き、動物の痕跡や習性、森の成り立ちや守るべき地域の豊かな生態系を体感する。
- ・罠の仕掛け方を学びながら野生動物の習性と狩猟・駆除活動の難しさ・必要性を学習
- ・夷隅地域産イノシシ肉の試食を通じた食育 ※と殺や解体体験はありません

ライトな狩猟体験ですが、地元の獣に関する話から始まり、全国的に問題になっている獣害問題、猟師だからこそできるいのちの話。

普段知ることができないディープな話をいすみ市の山の中からお伝えします。

当日は自分もスタッフとして参加し、自分の経験や知識など、皆様にお話しできたらと思っています。このツアー通じて「いのちとは」「生きるとは」を肌で感じていただけたら幸いです。

なぜ企画したのか

思春期の体験で命ってなんだろう？生きるってなんだろう？と深く考えるようになりました。そんな折、ある地域で狩猟体験に参加しました。その時に猟師さんから語られた命の話や体験は、多感な時期の自分にはとても大きな衝撃で、自分の人生観を見つめなおす体験でした。

命を知りたい。思春期の子その保護者に伝えたい。その想いからいすみ市で猟師として活動しています。

『狩猟体験を通じたいすみ市自然学習』

- ・期 間：2月23日～3月29日
毎週日曜日14時～18時開催（時期により開催時間の変更あり）
- ・対 象：中学生とその保護者。
- ・参加料金：無料（※同伴保護者も無料）
- ・定 員：3名以上で催行。



地域おこし協力隊小池 ☎080-2131-4853 ✉koike.isuming@gmail.com

地域おこし協力隊とは、

条件不利地域等の地方公共団体が都市地域から地域の活性化に意欲のある人材を

「地域おこし協力隊」として受け入れ、地域課題の克服と共に本人の定住化を図ろうというものです。

【問合せ先】いすみ市地域おこし協力隊 大原庁舎（2階）企画政策課 ☎62-1382

